

■ 第 1 回専門委員会④における主な意見

- 審議事項：現計画期間中の主な取組み、現状と課題
- 開催日：令和 6 年 5 月 20 日（月）
- 出席委員：会長・松浦賢長（福岡県立大学理事）、
（敬称略） 副会長・安孫子健輔（NPO 法人子どもアドボカシーセンター福岡 理事長）、
井藤良光（福岡市民生委員児童委員協議会 常任理事）、
大森充（連合福岡・福岡地域協議会 副議長）

【主な意見（要約）】

[計画全体]

- 当事者の意見を聴くワークショップで、いじめや虐待等の具体的な相談があった場合の対応を想定しておいたほうがいいのではないかと。
- 計画を検討するにあたって、外国にルーツのある子の話、LGBTQ の話、民間及び公的な相談機関等の幅広い分野にヒアリングをしてもらいたい。
- 夜に外を出歩く子どもは減ったが、見えにくいところでくすぶっているのではないかと。見えにくいところで、課題をたくさん抱えているような子どもも含めた、すべての子ども・若者を視野に入れていく必要がある。

[施策 5] 子育てを応援する環境づくり

- 男性の育児休業取得を推進していくうえで、企業の理解や制度の構築が大事になる。

[施策 15] 子どもの権利擁護の推進

- 日本語指導については、子どもより親が苦勞しているという話もあるため、子どもだけでなく家族単位で考えることも一案としてあるのではないかと。
- いじめ防止や不登校児童生徒への支援などについては、民生委員や学校も含めた地域資源をどのように把握し共有されているかも重要である。

[その他] 子育てを応援する環境づくり

- 民生委員が地域の気になる親子を支援に繋ぎやすくなるよう、歩いていける範囲や土日でも連絡ができる相談機関として、こども版のいきいきセンターを設置してほしい。